

## 9. にしじますいもん 西島水門



### ◆所在地

西淀川区西島1丁目

### ◆概要

淀川改良工事（明治29年～明治43年（1896年～1910年））の新淀川開削による西島川締切りに際し、新淀川と西島川の舟運を確保するとともに、洪水防禦の目的で明治43年（1910年）に西島閘門が竣工した。その後、昭和初期から始まった累年の地盤沈下によりその公用がなくなり、水門に改築する必要が生じたため、淀川修補工事（昭和14年～昭和39年（1939年～1964年））に伴い昭和35年（1960年）に西島水門に改築した。西島水門は竣工後、大阪府で維持管理と操作をしていたが、昭和46年（1971年）から建設省（現：国土交通省）で維持管理と操作をしている。

## 10. やぐらりよくち 矢倉緑地



### ◆所在地

西淀川区西島2丁目1番

### ◆概要

淀川と神崎川河口にはさまれた矢倉緑地は、昭和9年（1934年）の第1室戸台風で水没した田畑を埋め立てた土地で、平成9年（1997年）から造成を行い、平成12年（2000年）にオープンした都市公園である。

市内では珍しくコンクリート護岸のない海水面と接する公園で、自然石を用いた荒磯自然護岸や水に触れ合うことができる潮だまりがあり、通水管を通ってきた小魚が泳いでおり、カニ・フジツボ・フナムシなども見られる。

周辺は、渡り鳥の滞留地になっているので、公園内に設けられた野鳥観察所から、カルガモやユリカモメなどが観察できる。

また、矢倉緑地から眺める夕景は、阪神高速道路湾岸線のシルエットを浮かび上がらせ、西淀川区の新しいシンボルとなっている。

面積：24,000㎡。

## 11. のぎとすみよしじんじや 野里住吉神社



### ◆所在地

西淀川区野里1丁目15番12号

### ◆概要

永徳2年(1382年)足利3代将軍義満の時代に創建された。祭神は海上の守護神といわれている住吉三神(上筒男命(うわつつのおのみこと)、中筒男命(なかつつのおのみこと)、底筒男命(そこつつのおのみこと))と神功皇后。このことは、この地が常に水害に悩まされ、時には多くの人命が失われていたことを物語るものである。

現在の本殿は宝永3年(1706年)の造営で、住吉造りによる本殿屋根の千木には、魔除けの剣の彫刻が施されている。

また、この神社に伝わる神事で人身御供の名ごりをとどめる“一夜官女祭”がある。7人の女兒(一夜女郎)を選び、7つの膳(夏越桶)をしつらえ、親子別れの盃を交わしたのち神殿に赴くというもので、大阪府指定文化財となっている。

## 12. はなかわじんじや 鼻川神社



### ◆所在地

西淀川区花川2丁目1番12号

### ◆概要

当地は、古く淀川水系旧中津川口の三角州上に発達し、対岸に突き出した半農半漁の集落であった。神功皇后がこの地に立ち寄り、そのことを知った住民たちは取り急ぎ、つき立ての餅を柏の葉に乗せ、野に咲いていた草花を添えて提供すると、皇后はこれをことのほか喜び賞味した。その時、地名が無いことを聴かれて、対岸に突き出した地形が鼻のようになっているからと、地名を「はなかわ」、渡しを「かしわ」と命名した。以来、この地を「鼻川の里」、渡しを「かしわの渡し」と呼び習わしている。また、この名を記念してお堂を建て、神功皇后を祀り、後に対岸の海老江の氏神である須佐之男命(すさのうのみこと)を祀って「鼻川の社」と称した。

明治30年(1897年)、新淀川開削のため社地が河川敷となり、一時は姫嶋神社に合祀されたが、大正13年に村民の努力で独立神社として承認され、昭和9年(1934年)に現在の社殿が建立された。

13. ひめじまじんじゃ  
姫嶋神社



◆所在地

西淀川区姫島4丁目14番2号

◆概要

阿迦留姫命（あかるひめのみこと）と住吉大神を祀る。創建年代は不明。豊臣秀吉の時代に一時は住吉神社と称したが明和3年（1766年）に社名を元に戻す。ご祭神阿迦留姫は、古事記によると「赤い玉より生まれた美人で新羅の王子、天之日矛（あめのひぼこ）と結婚、常に美食を用意して仕えたが、高慢な夫の態度に耐えきれず、難波に逃げ帰った」とある。また摂津国風土記によると、「新羅の女神が夫のもとを逃れ、筑紫の国の伊波比の比売島（ひめじま）（大分県姫島）に暫くいたが、ここは新羅から近いので、きっと夫が追いかけてくるにちがいないと摂津の国に移り住んだ。そして、もといた島の名をとって比売島と名付けた」とある。姫島は難波八十島（なにわやそしま）の一つで阿迦留姫が留まった比売島が、この地にあたると伝えられてきた。

14. おおのひやくしますみよしじんじゃ  
大野百島住吉神社



◆所在地

西淀川区百島1丁目3番98号

◆概要

正保元年（1645年）4月、此之地開発の時村民が協力して創建されたものと伝えられている。明治8年（1875年）3月村社に列し、明治44年（1911年）3月7日大字百島字上の島（おおあざひやくしまあざかみのしま）の村社、稻荷神社を合祀した。

境内には本殿、拝殿を有し、末社には蛭子神社、金毘羅宮があり、古くは境内に樹木が蒼然としていたことが残存の大樹楠、樹齢約400年の切り株によってその往時を偲ぶことができる。

また、平成7年（1995年）の阪神淡路大地震により旧本殿は倒壊したが、氏子崇敬者の協力により平成8年（1996年）10月に近代的な本殿が造営され、また境内も整備され社務所も修改築された。



## 15. 福住吉神社

ふくすみやしじんじや



### ◆所在地

西淀川区福町2丁目15番6号

### ◆概要

福村が開発された正保元年（1644年）の光明天皇の時代に、住民となった村人等が主として漁業を業としていたため、航海の安全と豊漁を願って、12年後の明暦2年（1656年）に、此の地に宮地を築き上げ殿社を建て、住吉大神を勧請したのが始まりである。「福村の道路は貝殻でできている」とまでいわれるほど「貝の福」として近畿一円に知られるほどであった。今も境内には貝殻が散見される。また、太平洋戦争までは当地から一人の戦死者もなく、先の大戦でも町に軍需工場があったにもかかわらず、焼夷弾等の被災にあわず今日に至っており、当地の守護神として信仰されている。

## 16. 歌島橋交差点

うたじまばしこうさてん



### ◆所在地

西淀川区御幣島1丁目、2丁目、  
千舟1丁目、2丁目

### ◆概要

歌島橋交差点は国道2号線、府道（大阪池田線）、市道（淀川北岸線）の3路線が交差する5差路であり、かつては大阪の中でも主要渋滞ポイントに挙げられていた。大気質・騒音などの環境面も厳しく、歩行者・自転車が安心して横断することが難しい状況であったためバリアフリーの横断空間の構築、交差点のコンパクト化・信号サイクル等の改善による交通渋滞の緩和や沿道環境の改善を目指して地下横断歩道が設置され、平成21年（2009年）に全方向への地下横断が可能となった。

地下には平成9年（1997年）開業のJR東西線「御幣島駅（みてじまえき）」が立地し一日あたり約19,000人が利用しており、また同交差点周辺には特徴的な外観を持つ区役所、保健福祉センター、図書館が複合した施設（平成17年竣工）がある等公共施設が集積している。

## 17. <sup>はみがきかぶしきがいしゃ</sup>スモカ<sup>ほんしゃ</sup>歯磨株式会社 本社



### ◆所在地

西淀川区御幣島1丁目3番9号

### ◆概要

赤い瓦屋根にクリーム色をした壁を持つ洋館仕立ての本社は、昭和11年(1936年)築。寿屋(現サントリー)で創製されたタバコのヤニ取りに特化した歯磨きを大正14年(1925年)発売。英語の『SMOKER』をもじって商品名を『SMOCA』と名付けた。しばらくして寿屋は、スモカ歯磨部門を売却し、昭和11年(1936年)住吉区から西淀川区の現在地へ移転された。

## 西淀川区の都市景観資源（分布図）



### ■都市景観資源とは…

地域のみなさんに親しまれ、地域の景観を特徴づけている建造物、橋梁、樹木などの資源を、大阪市都市景観条例に基づき登録するものです。広く市民の皆さんに知ってもらい、地域の景観に関心を持ってもらうことにより、地域の特性を生かした景観づくりを進めていこうとするものです。

### ■大阪市都市景観条例(平成 10 年大阪市長令第 50 号)

大阪地域の景観の向上及び地域の特性を生かした都市景観の形成を目的として、その実現に向けて必要な基本事項を定めた条例です。市民や事業者のみなさんに都市景観への関心をより高めていただき、魅力的な都市景観をつくっていくことをめざしています。

### 都市景観資源紹介 HP

<http://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000017850.html>

お問い合わせ先 大阪市都市計画局 計画部 都市計画課（都市景観）  
〒530-8201 大阪市北区中之島 1-3-20（市庁舎 7 階）  
電話 06（6208）7885



西淀川区キャラクター  
に～よん